

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

求められる教職員像[普遍的な事項]

- 高い倫理観と豊かな人間性をもっている。
- 子どもに対する教育的愛情と教育に対する使命感をもっている。
- 専門性を発揮し、的確に職務を遂行できる。
- 社会や子どもの変化に柔軟に対応できる。

教育の原点 子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます。

- 使命** 私たちは、子どもたちを守り育てます。
- 遵法** 私たちは、法令を遵守します。
- 公正** 私たちは、不祥事を許しません。
- 公開** 私たちは、地域に開かれた学校にします。

広島県東広島市立西条小学校の決意表明

私たち教職員は、「求められる教職員像」及び「教育の原点」を常に意識し、不祥事を根絶します。

東広島市立西条小学校

作成責任者 校長 祭田 学

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	当事者意識をもつことができるような研修の内容・方法を工夫する必要がある。	○服務研修の内容・方法・時期等を見直し、実感を伴う研修にする。 ○不祥事を自分事として考え、行動できる体制を整える。	○他市町の服務研修の内容を参考にし、自分事として考えることができる内容や方法に改善する。 ○自己の課題として考えるよう、意見交流の時間を設定するとともに、振り返りを充実させる。	○毎月1回の不祥事防止委員会において、研修内容等を協議する。 ○毎回の服務研修の最後に、不祥事防止のためのチェックリストで自分の行動を振り返る。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	不祥事につながる事案や共有する物品の不具合・紛失等の報告が遅れることがある。	○職員同士のコミュニケーションを大切にし、よいことも悪いことも話せる風通しのよい職場にする。 ○不祥事防止委員会の協議内容の周知・徹底を図る。	○学年部会や分掌部会等で担当職務の進捗状況を確認し、課題となることを整理する。 ○全体で共通確認をすることは、事項の軽重に応じて暮会や企画委員会等で取り上げる。	○毎月1回の不祥事防止委員会や学年主任会等において、情報交換を行い、状況を把握する。 ○日常的なコミュニケーションと定期面談を実施する。
相談体制の充実	「体罰・セクシュアルハラスメント相談窓口」については、掲示や繰り返しの周知をしているが認知度が低い状況にある。	○「体罰・セクシュアルハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行う。 ○日頃から、地域や保護者の方とのコミュニケーションを大切にする。	○各教室への掲示、毎月の学校だよりや行事予定のお知らせで児童・保護者へ周知する。 ○「体罰・セクシュアルハラスメント相談窓口」の担当者の顔写真を掲示物に載せ、気軽に相談できるようにする。	○年に2回(6月・12月)児童と保護者にアンケートを実施する。 ○相談状況やアンケートの分析により、改善を図る。